

令和4年度 第2回 双葉小学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年6月16日（木）15時00分から16時30分
- 2 開催場所 双葉小学校 会議室
- 3 出席委員 二橋 雅夫、黒柳 将人、加藤 泰弘、水野 久美子、大羽 恵子
菘 悦子、木村 理、伊東 敏郎、木村 健二、伊藤 篤志
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 藤井 隆志（校長）、井口 幸英（教頭）、浅井 功平（教務主任）
加美 美紀（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 7 傍聴人 なし
- 8 協議事項
（1）議長の選出について
（2）第1回運営協議会の振り返り
（3）キッズチャレンジビジネスについて
（4）その他の報告事項について
- 9 会議録作成者 CSディレクター 加美 美紀
- 10 会議記録

開催にあたり、委員総数10人のうち10人の出席があり過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会の教頭から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、加藤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

（2）第1回運営協議会の振り返りについて

議長の指示により、第1回協議会の熟議のまとめを全員で確認し、振り返りを行った。

（3）キッズチャレンジビジネスについて

議長の指示により、校長から以下の説明があった。

- ・ とともに「自分から行動する子」を育てるために、本校の伝統的な活動である「キッズチャレンジビジネス」を柱に、各学年の教科等の教育活動を縦につなげ、保護者や地域の協力・支援を得ながら実践を進めていきたい。また、同時に「キャリア教育」の充実を図れるようにしたい。

各委員からは以下の発言があった。

- ・ 百貨店で行うキッズチャレンジビジネスは、6年生で初めて経験するよりも前段階で何かできることがあるとよいと思っている。そのため5年生が見学できる活動が計画されているのはよいことだと思う。双葉小の図書室は素晴らしいので、ここにキッズチャレンジビジネスのコーナーを充実させてはどうか。(木村理委員)
- ・ 校内でキッズチャレンジビジネスを他の学年に見てもらい、図書室を使って縦割りで交流してみてもどうか。(蓑委員)
- ・ 学年という枠を超えて、頑張る姿が見られることが良いのではないか。(水野委員)
- ・ キッズチャレンジビジネスは15年以上取り組まれている活動である。安定して継続され少しずつ進化してきてはいるが、ビジネスの内容を2、3年ごとに見直すことも必要ではないか。(大羽委員)
- ・ 学校で、キッズチャレンジビジネスに要する時間はどの程度ゆるされているのかを考える必要がある。このような活動は、以前は買い物に行くなどの実生活から得られていた。今は限られた時間の中で、子供たちのために必要なものを絞って、進めていく必要があると思う。(二橋委員)
- ・ 地元の企業が、子供向けに職業体験やセミナーを行っているという話を聞いている。ホームページを見るなどして、積極的に地域の企業や店などを探してみてもどうか。(伊藤委員)
- ・ 在校生の保護者として、子育てに関する講演会に参加するなど、親として学ぶ機会があれば良いと思う。(木村委員)
- ・ P T A向けに様々な職業の方から話を聴く講座など、学校が積極的に声掛けをして開催してはどうか。(伊東委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(4) その他の報告事項について

校長より、前回の協議会で問い合わせがあった小規模特認校について

教頭より、校内東門開放に伴う通学路整備に係る進捗状況についての説明があった。

次回開催予定

第3回 令和4年12月8日(木) 15時より

※学校運営協議会の前に、遠鉄百貨店で行われるキッズチャレンジビジネスの様子を参観していただく。